

協力者保管用

研究協力の同意書

私は、「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」の趣旨を理解し、調査への協力を同意いたします。

同意します

同意しません

ご所属

ご氏名

研究趣旨および説明者

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
聖路加看護大学 麻原 きよみ

2007年11月20日

保健師養成機関 各位

「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」へのご協力をお願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私共は、平成19年度厚生労働科学特別研究事業として、「保健師基礎教育における技術項目と到達目標に関する研究」に取り組み、保健師基礎教育卒業時点で達成されるべき技術項目とその到達度を明らかにすることを目的としています。

今年度、保健師助産師看護師学校養成所指定規則が改正され、平成21年度より施行される予定です。保健師養成機関においては、これに基づいて科目や実習など、カリキュラムの構築が進められることとなります。本研究によって保健師養成機関の卒業時点で学生が達成すべき技術項目とその達成度が明らかになれば、保健師養成機関においてはそれをカリキュラム作成に活用できます。それらはまた、新卒保健師の教育および継続的な現任教育の枠組みとなり、教育効果だけでなく、実践効果を測定するための指標になるとも考えられます。

つきましては、本研究の意義をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げる次第です。貴校の先生方で、下記に該当する先生、お一人にご回答をお願い申し上げます。

- ① 保健師基礎教育機関の教務主任または保健師教育の責任者の方
- ② あるいは、保健師教育経験が5年程度あり、かつ保健師教育に現在携わっている方

本研究では、到達目標をできるだけ妥当なものにしていくためにデルファイ法を用いた調査を行います。そのため、2回にわたり調査票への回答をお願いする予定です。

お忙しいところ、大変恐縮ではございますが、皆様方に保健師基礎教育の専門家としての立場からご協力をいただければ幸いです。

敬具

平成19年度 厚生労働科学特別研究事業
「保健師基礎教育の技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」

主任研究者 麻原きよみ (聖路加看護大学)
研究班 荒木田美香子 (大阪大学)、大木幸子 (杏林大学)、岡本玲子 (岡山大学)、
奥山則子 (東京慈恵会医科大学)、海原逸子 (神奈川県横浜市)、
須藤裕子 (埼玉県小鹿野町)、村嶋幸代 (東京大学)、宮崎美砂子 (千葉大学)、
長江弘子、大森純子、小林真朝、平野優子 (聖路加看護大学)

事務局 聖路加看護大学 地域看護研究室内 住所 〒104-0044 東京都中央区明石町10番1号
連絡先 TEL&FAX 03-5550-2271~2273 (直通) E-mail chiiki-kango@slcn.ac.jp

平成19年度厚生労働科学研究(厚生労働科学特別研究事業)

「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する調査」へのご協力お願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私共は、平成19年度厚生労働科学特別研究事業として、「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」に取り組み、保健師基礎教育卒業時点で達成されるべき技術項目とその到達度を明らかにすることを目的としています。

今年度、保健師助産師看護師学校養成所指定規則が改正され、平成21年度より施行される予定です。保健師養成機関においては、これに基づいて科目や実習など、カリキュラムの構築が進められることとなります。本研究の結果はカリキュラム作成への指標として活用されるとともに、新卒保健師の教育および現任教育の枠組みとなり、教育効果だけでなく、実践効果を測定するための指標になることが期待されます。

つきましては、本調査に貴機関から1名の方に保健師基礎教育の専門家としてご協力をいただければ幸いです。

ご協力いただくに当たりあなた様へ、お約束することは以下の通りです。

1. 本研究へのご協力はあなたの自由意思で行います。お断りになっても、あなたに何の障害もありません。
2. 調査票は全て匿名化してデータとして用います。匿名化した後、調査票は廃棄し、研究データは3年間、結果の再現性を保ち、適切に管理いたします。
3. 郵送のために使用した住所・氏名などの個人情報、調査票、報告書の郵送のためにのみ使用いたします。
4. 本調査でご回答いただきました調査データは、本研究の目的以外には使用いたしません。
5. 2回目の調査については謝礼品を同封させていただきます。
6. 本研究結果の公表は、広く関係団体を通じて行います。その際にも、個人が特定されることはありません。

尚、本研究は聖路加看護大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。

(承認番号 07-067)

本研究での「保健師基礎教育の専門家」とは、

- ① 保健師基礎教育機関の教務主任または保健師教育の責任者の方
 - ② あるいは、保健師教育経験が5年程度あり、かつ保健師教育に現在携わっている方
- としております。

◎調査票・同意書返送のお願い

返送期限：平成19年11月30日(金)までに同封の返信用封筒にて投函してください。

返送書類：①研究協力の返送用同意書：お名前、ご所属等を漏れなくご記入ください。

尚、協力者保管用同意書は、貴機関で保管してください。

②ご回答いただいた調査票

◎2回目の調査のお願い

2回目の調査は、2月上旬ごろの予定です。謝礼品を同封させていただきます。

①2回目の調査にご協力いただける方は、「同意する」に○をつけ、郵送先を記載してください。

②報告書をご希望の方は、「希望する」に○をつけ、郵送先を記載してください。

◎ 調査に関するお問合せ先

聖路加看護大学 地域看護学研究室内

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

TEL:03-5550-2271～2273(直通) FAX:03-5565-1626 E-mail: chiiki-kango@slcn.ac.jp

★ 不在時の場合、電話は留守電で対応しています。折り返しこちらからお電話いたします。

★ Eメールの返信は、月曜日、木曜日にさせていただきます。

返送用

研究協力の同意書

私は、「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」の趣旨を理解し、調査への協力を同意いたします。

同意します

同意しません

ご所属

ご氏名

研究趣旨および説明者

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
聖路加看護大学 麻原 きよみ

研究協力の同意書

私は、「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」の趣旨を理解し、調査への協力に同意いたします。

同意します

同意しません

ご所属

ご氏名

研究趣旨および説明者

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1
聖路加看護大学 麻原 きよみ

平成19年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究

「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する調査（第1回調査票）」

拝啓

時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

この度、保健師助産師看護師学校養成所指定規則が改正され、平成21年度より施行される予定です。保健師養成機関においては、これに基づいて科目や実習など、カリキュラムの構築が進められます。しかしながら、現段階では「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」は、暫定版でしかなく、学生の実践能力を評価する指標として妥当性は検証されていない現状にあります。

そこで、今回の調査は、保健師養成機関の教員と公衆衛生看護領域（行政・産業等）で働く実践者の教育担当者のご意見をお聞かせいただき、基礎教育側と実践教育側の実情にあった「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標」を作成することを目的としています。「保健師教育の技術項目と卒業時の到達度」は、保健師教育カリキュラム構築の際に重要かつ必要となる指標であり、保健師養成機関の卒業時点で学生が達成すべき技術とその内容、およびその達成目標を示すこととなります。

なお、この調査はデルファイ法を用いて調査を実施・分析するため、今回の調査結果に基づき修正した技術項目と到達レベルについて、2回目のアンケート調査を実施する予定です。

つきましては、ご多忙のところ恐れ入りますが、調査にご協力いただきたくお願い申し上げます。

また、回答はすべてコンピュータによる統計的な処理を行い、個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。

お手数ですが、**11月30日（金）まで**に返信用封筒にてご返願いたします。

敬具
主任研究者 聖路加看護大学 地域看護学 教授 麻原きよみ

*この調査に関するご質問やお問い合わせ等は下記までお願いいたします。

担当：聖路加看護大学 地域看護学研究室内

連絡先：〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 TEL:03-5550-2271～2273(直通) FAX:03-5565-1626 E-mail: chiiki-kango@slcn.ac.jp

★不在時の場合、電話は留守電で対応しています。折り返しこちらからお電話いたします。

★Eメールの返信は、月曜日、木曜日にさせていただきます。

問 1 保健師の技術項目について

保健師の技術項目について、以下の設問形式でお答えください。(次ページの記入例を参考にして、ご記入ください。)

①適合度	あなたは、設問に挙げた「技術項目」が、大項目、中項目と適合していると思いませんか？ それぞれの技術項目について、「適合」、「不適合」を選んでお答えください。
②重要度	あなたは、「新卒保健師として現場で活動する際に必要な能力」を備えるために保健師養成機関で習得する技術項目として、それぞれの「技術項目」はどの程度重要だと考えますか？ 5段階のうち、当てはまる番号に○をつけてください。
③④到達度	あなたは、設問に挙げた「技術項目」について、保健師養成機関の卒業時点で、学生がどの程度のレベルに到達していると感じていますか？ 4段階評価のうち80%以上の学生が到達できていると思われる番号に○をつけてください。 それぞれの技術項目のうち、大項目のA、Bについては「③個人・家族を対象とした場合の到達度」と「④集団を対象とした場合の到達度」に分けて、お答えください。
⑤ご意見	あなたが不適合とした理由や意見、代替案をお書きください。 到達度についての理由や意見、代替案をお書きください。 また、項目の表現等についてお考えをお聞かせください。
追加項目	「新卒保健師として現場で活動する際に必要な保健師の能力」の育成にあたり、記載された技術項目以外に「必要だと思われる技術項目」がありましたら、「その他」の欄に挙げてください。

●なお、技術項目は、以下のように分類されています。

大分類	中分類	技術項目数(その他含む)
A. 地域の健康課題を明らかにする	A-a. 地域の人々の健康をアセスメントし、モニタリングする技術	9項目
	A-b. 地域の人々の顕在的、潜在的な健康課題を明らかにする技術	7項目
B. 地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める	B-a. 特定の健康課題の計画を立案する技術	5項目
	B-b. 特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高めるための活動展開技術	17項目
	B-c. 特定の健康課題への評価・フォローアップ技術	22~38
	B-d. 特定の健康課題を解決・改善するために、地域の人々・関係職者と協働する技術	5項目 6項目
C. 地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な分配を促進する	C-a. 地域の人々の健康にかかわる事業・制度などを立案し、管理する(施策化)技術	13項目
	C-b. 地域の人々の生活と健康に関する社会資源の開発・質を保証する技術	13項目

* 「地域」：人々の生活が営まれる場。地域社会だけでなく、企業・学校も含まれる。

《記入例》

大項目

A. 地域の人々の健康課題を明らかにする。

「地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康状況について客観的・主観的情報を収集し、アセスメントできる。」の技術項目が大項目、中項目と適合しているかどうかを選択

それぞれの技術項目について自由にコメント

中項目	①適合度 適合 不適合	②重要度					③個人/家族を対象とした到達度			④集団を対象とした到達度			⑤ご意見		
		非常に重要	重要	普通	それほど重要でない	重要でない	単独で実施できる	指導の下で実施できる	学内演習で実施できる	知識として分かる	単独で実施できる	指導の下で実施できる		学内演習で実施できる	知識として分かる
1 地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康状況について客観的・主観的情報を収集し、アセスメントできる。	① 2	1	② 2	3	4	5	1	③ 2	3	4	1	2	④ 3	4	
2 地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康に関して身体的・精神的・社会的側面から情報収集し、アセスメントできる。	1	2	1	2	3	4	5	1	3	4	1	2	3	4	4
3 地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康に関する社会資源について情報収集し、アセスメントできる。	1	2	2	3	4	5	1	1	3	4	1	2	3	4	4
4 地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康に関する自然および物理的環境について情報収集し、アセスメントができる。	1	2	2	3	4	5	1	1	3	4	1	2	3	4	4
5 地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康状況について、一時点ではなく経時的に情報収集し、アセスメントできる。	1	2	2	3	4	5	1	1	3	4	1	2	3	4	4
6 その他A-a①	1	1	2	3	4	5	1	1	3	4	1	2	3	4	4
7 その他A-a②	1	1	2	3	4	5	1	1	3	4	1	2	3	4	4

A-a. 地域の人々の健康をモニタリングし、アセスメントする技術

中項目

「A 地域の人々の健康課題を明らかにする」の「A-a 地域の人々の健康をモニタリングし、アセスメントできる技術」について、必要だと思う技術項目があれば自由に記入。その項目について、適合度・重要度・到達度も記入

「地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康状況について客観的・主観的情報を収集し、アセスメントできる」の「新卒保健師として必要な能力」を備えるために保健師養成機関で習得する技術項目としての重要度を5段階で評価

「地域の人々（個人/家族・集団）の生活と健康状況について客観的・主観的情報を収集し、アセスメントできる」について卒業時点で80%以上の学生が到達できていると思われる到達度を4段階で評価

A. 地域の健康課題を明らかにする

中項目	小項目	①適合度				②重要度				③個人/家族を対象とした到達度				④集団を対象とした到達度				⑤ご意見		
		適合	不適合	重要	それほど重要でない	重要でない	重要	普通	それほど重要でない	非常に重要	重要でない	単独で実施できる	指導の下で実施できる	字内演習で実施できる	知識として分かる	単独で実施できる	指導の下で実施できる		字内演習で実施できる	知識として分かる
A-a. 地域の人の健康をアセスメントし、モニタリングする技術	1	地域の人の生活と健康状況について客観的・主観的情報を収集し、アセスメントできる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	2	地域の人の生活と健康に関して身体的・精神的・社会的側面から情報収集し、アセスメントできる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	3	地域の人の特定の健康課題を当事者の立場からとらえることができる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	4	地域の人の生活と健康に関する社会資源について情報収集し、アセスメントできる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	5	地域の人の生活と健康に関する自然および物理的環境について情報を収集し、アセスメントができる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	6	地域の人の生活と健康状況について、一時点だけではなく経時的に情報収集し、アセスメントできる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	7	地域の人の生活と健康に関する指標についてモニタリングできる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	8	その他A-a①)	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	9	その他A-a②)	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	10	地域の人の表面化している健康課題を特定することができる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	11	地域の人の今後起こりうる健康課題を予測できる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	12	地域において活用できる社会資源の不足・アクセスの問題を明らかにできる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	13	地域において健康課題を持ちながらそれを表出しない・できない人々を明らかにできる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	14	地域の人の特定の健康課題について優先順位をつけることができる	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	15	その他A-b①)	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			
	16	その他A-b②)	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4			

B. 地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める

中項目	小項目	①適合度		②重要度					③個人/家族を対象とした到達度			④集団を対象とした到達度			⑤ご意見		
		適合	不適合	非常に重要	重要	普通	それほど重要でない	重要でない	単独で実施できる	指導の下で実施できる	学内演習で実施できる	知識として分かる	単独で実施できる	指導の下で実施できる		学内演習で実施できる	知識として分かる
B-a. 特定の健康課題の計画を立案する技術	17	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	18	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	19	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	20	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	21	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	22	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	23	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	24	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	25	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	26	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	27	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	28	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	29	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	30	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	31	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	32	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	

B. 地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める

中項目	小項目	①適合度		②重要度				③個人/家族を対象とした到達度				④集団を対象とした到達度				⑤ご意見	
		適合	不適合	非常に重要	重要	普通	それほど重要でない	重要でない	単独で実施できる	指導の下で実施できる	学内演習で実施できる	知識として分かる	単独で実施できる	指導の下で実施できる	学内演習で実施できる		知識として分かる
B-b. 特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高めるための活動展開技術	33	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	34	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	35	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	36	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	37	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	38	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	39	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	40	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	41	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	42	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
B-c. 特定の健康課題への評価・フォローアップ技術	43	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	44	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	45	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	46	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	47	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	48	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	
	49	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	

C. 地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な分配を促進する

中項目	小項目	①適合度		②重要度					③到達度				⑤ご意見
		適合	不適合	非常に重要	重要	普通	それほど重要でない	重要でない	単独で実施できる	指導の下で実施できる	学内演習で実施できる	知識として分かる	
C-a. 地域の人々の健康にかかわる事業・制度などを立案し、管理する(施策化)技術	50	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	51	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	52	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	53	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	54	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	55	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	56	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	57	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	58	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	59	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	60	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	61	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	62	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

C. 地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な分配を促進する

中項目	小項目	①適合度		②重要度					③到達度				⑤ご意見
		適合	不適合	非常に重要	重要	普通	それほど重要でない	重要でない	単独で実施できる	指導の下で実施できる	字内演習で実施できる	知識として分かる	
C-b. 地域の人々の生活と健康に関する社会資源の開発・質を保証する技術	63	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	64	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	65	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	66	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	67	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	68	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	69	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	70	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	71	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	72	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	73	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	74	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	75	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

問 2 アンケート回答者について、下記の質問について該当するものには○、空欄には数字、または語句を記入してください。

1) あなたの年代をお答えください。

1	20代	2	30代	3	40代	4	50代	5	60代	6	70代以上
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-------

2) あなたの性別をお答えください。

1	女性	2	男性
---	----	---	----

3) あなたの持っている資格の番号に、○をつけてください。(複数可)

1	看護師	2	助産師	3	保健師	4	養護教諭 (1種、2種)	5	介護支援専門員
6	精神福祉相談員	7	その他 ()						

4) あなたの職位についてお答えください。

所属 ()	職位 ()
* 公衆衛生看護領域 (行政・産業等) で働く実践者にお聞きします。現在、あなたはどちらの機関に所属していますか。	
1 都道府県	2 政令指定都市・中核市・特別区
3 市町村	4 産業保健領域
5 その他 ()	

5) あなたの経験年数

(1) 保健師の方にお聞きします。

①保健師としての経験年数	()	年
②教育経験年数	()	年
③臨床経験年数	()	年

(2) 教育機関の方にお聞きします。

①教育経験年数	()	年
②保健師経験年数	()	年
③臨床経験年数	()	年

* 第 2 回調査予定とご記名のお願い

今回の調査結果に基づき、2月上旬、2回目のアンケート調査を実施する予定です。つきましては、今回の調査にご回答いただいた方のみ、2回目の調査票をお送りしたいと考えおります。なお、2回目の調査票発送時に謝礼品をお送りしたいと考えおりますので、所属機関名・氏名・ご住所（送付先）欄にご記入のうえ、ご投函くださるよう、お願い申し上げます。

1) 2 回目の調査協力に同意していただけますか？

1 同意します 2 同意しません

2) 報告書の送付を希望しますか？

1 希望します 2 希望しません

→ 3) 調査協力に同意していただける方、報告書の送付を希望する方は、あなたの所属とお名前、ご住所（送付先）等をお知らせください。

所属機関名： _____

お名前 _____

ご住所（送付先）：〒 _____

なお、名前等の個人情報、次回の調査票及び謝礼品、報告書の発送のためだけに使用させていただきますので、調査内容の分析、その他個人が特定されるような情報として取り扱うことは決してございません。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、ぜひ、2 回目の調査にもご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎本調査につきましてご意見がございましたら、ご記入ください。

*この調査に関するご質問やお問い合わせ等は下記までお願いいたします。

事務局：聖路加看護大学 地域看護学研究室内

連絡先：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 TEL:03-5550-2271~2273(直通) FAX:03-5565-1626 E-mail: chiiki-kango@slcn.ac.jp

★不在時の場合、電話は留守電で対応いたします。折り返しこちらからお電話いたします。

★Eメールの返信は、月曜日、木曜日にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

平成20年1月31日

第2回「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」
の調査ご協力をお願い

平成19年度厚生労働科学研究（厚生労働科学特別研究事業）

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日は、お忙しい中、第1回調査へのご協力いただき、現実を踏まえた数多くの貴重なご意見を誠にありがとうございました。皆様からいただきました第1回調査結果をもとに、到達度、項目の表現について、全ての項目を再検討し、修正いたしました。前回の調査依頼でもご案内させていただきましたように、これらの到達度をより妥当なものとするため、引き続き、第2回調査への協力をお願いいたします。本調査は、平成21年度から改訂される保健師教育新カリキュラムの基盤となるものであり、今後の保健師活動や教育の発展のためにも、皆様の貴重なご意見をお寄せ下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご協力いただくにあたり、お約束することは以下のとおりです。

1. 本研究へのご協力はあなたの自由意志でお願いいたします。お断りになっても、あなたに何の不利益もありません。
2. 調査票は全て匿名化したデータとして用います。匿名化した後、調査票は廃棄し、研究データは3年間、結果の再現性を保ち、適切に管理いたします。
3. 郵送のために使用した住所・氏名などの個人情報、調査票、報告書の郵送のためにのみ使用いたします。
4. 本調査でご回答いただきました内容は、本研究の目的以外には使用いたしません。
5. 今回の調査には、謝礼品を同封させていただきました。
6. 本研究結果の公表は、広く関係団体を通じて行います。その際にも、個人が特定されることはありません。

尚、本研究は聖路加看護大学研究倫理審査委員会での承認を受けて実施しております。

(承認番号 07-067)

◎調査票返送のお願い

返送期限：平成20年2月18日(月)までに同封の返信用封筒にて投函をお願いします。

◎調査に関するお問い合わせ先

聖路加看護大学 地域看護学教室

住所 〒104-0044 東京都中央区明石町10番1号

TEL 03-5550-2271～2273（直通） FAX 03-5565-1626

E-mail chiiki-kango@slcn.ac.jp

★不在の場合、電話は留守番電話で対応しています。

折り返しこちらからお電話いたします。

★Eメールの返信は、月曜日、木曜日にさせていただきます。

第2回調査 ご協力のお祝い

「保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する研究」平成19年度厚生労働科学研究（厚生労働科学特別研究事業）

保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達目標に関する第1回調査へのご協力、誠にありがとうございました。皆様からいただきました第1回調査結果をもとに、到達度や項目の表現などについて、全ての項目を専門家会議で再検討し、修正いたしました。検討・修正の要点と2回目調査の概要につきましては、以下の通りです。引き続き、2回目の調査もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

主任研究者 聖路加看護大学 地域看護学 教授 麻原きよみ

1. 1回目の調査の結果と検討・修正の要点

1回目の調査では、技術項目と卒業時の到達度について、その内容の妥当性と到達度の両方を問うかたちで調査させていただきました。その結果、198機関59.4%の方にご返送いただきました。内容の妥当性は、全項目につきまして80%以上の方から「適合している」という合意を得て、概ね項目の内容と構成は妥当と考えられました。しかし、到達度については、卒業時の到達度の定義が曖昧だったこと、働きかける対象を個人・家族と集団に分けたこと、項目表現が「～できる」となっていたことが影響し、項目の解釈と到達度の判断が実践家と教育機関で異なる項目がありました。そこで、皆様からいただいたご意見を踏まえて以下のように修正いたしました。

修正点	皆様からいただいたご意見・検討を要する点	修正後
到達度	「保健師教育の技術項目と卒業時の到達度」の定義が曖昧で、理想の学生像を念頭において回答したらよいか、現実の学生の状況を踏まえて回答したらよいかわからない 「卒業時の到達度」のうち、 II 「指導のもとで実施できる」、 III 「学内演習で実施できる」が分かりづらい 到達度のうち、特に「集団」を対象とした到達度が分かりづらい	「保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度」という視点からご回答いただく II 「（指導保健師や教員の）指導のもとで実施できる」に修正 III 「学内演習で実施できる（事例などを用いて模範的に計画を立てたり実施できる）」に修正 「集団/地域」に修正し、集団（自治会の住民、要介護高齢者集団、管理職集団、小学校のクラスなど）、地域（自治体、企業、学校など）を対象とした卒業時の到達度に修正
項目	「～できる」という到達レベルを示した表現となっている 共通した文章が冒頭についているものが多く（例えば、B群の場合は「地域の人の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める・・・」）、文章が長くなり理解しづらい 意味が重複したり、わかりにくい、順番を変えた方がよい項目がある	到達度の設定に解釈のばらつきが生じるため、「～する」という行為を示す表現に全て修正 共通した文頭の文章を削除し、簡潔な文章に修正 重複する項目を統合もしくは削除し、わかりやすい表現となるように修正し、順番を再検討した これらの修正や統合の結果、小項目は59から58項目となった

* 修正した「保健師教育の技術項目と卒業時の到達度（案）」の一覧は、資料をご覧ください。

2. 2回目の調査について

2回目の調査では、各小項目についての適合度と到達度について皆様の意見をご記入下さい。
お忙しいところ恐縮ですが、**2月18日(月)までに**、返信用封筒にてご投函をお願いします。

《設問内容》

1) 適合度

小項目が、大項目と適合しているかどうかを判断していただき、「1 適合」「2 不適合」のどちらかに○を付けて下さい。
適合していないとお考えの場合は、「4) 代替案、ご意見」の欄に、どのような代替案がふさわしいかをお書き下さい。

2) 個人/家族を対象とした場合の到達度 3) 集団/地域を対象とした場合の到達度

① それぞれの小項目に示す「保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度(案)」に同意するかどうかをお考え
いただき、「1 同意する」「2 同意しない」「3 同意しない」と回答された場合、ふさわしい到達度を I～IV から選択し、○を付けて下さい。

② ①で「2 同意しない」と回答された場合、ふさわしい到達度を I～IV から選択し、○を付けて下さい。

ただし、大項目 B の No.20 と大項目 C は、2) 個人/家族と 3) 集団/地域の区分がありません。

4) 代替案、ご意見

ご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

《記入例》大項目 A 地域の健康課題を明らかにする

中項目	小項目	1) 適合度		2) 個人/家族を対象とした到達度		3) 集団/地域を対象とした到達度		4) 代替案、ご意見
		1 適合	2 不適合	① 到達度の同意	② 「2 同意しない」場合の到達度	① 到達度の同意	② 「2 同意しない」場合の到達度	
A-2 地域の様々な生活と健康的・継続的にアセスメントする	健康課題を生活者である当事者の状況を踏まえてアセスメントする	①	2	2	1	2	1	
	身体的・精神的・社会的・環境的・主観的にアセスメントする							
	社会的・環境的にアセスメントする							

「1 同意する」と回答した場合は、「1 ひとりでも実施できる」に同意するかどうか、該当する数字に○を付けて下さい。

「2 同意しない」と回答した場合は、「2 ひとりでも実施できる」に同意するかどうか、該当する数字に○を付けて下さい。

「3 個人/家族を対象とした到達度」として到達度を I ひとりでも実施できるに○を付けて下さい。

「4) 代替案、ご意見」欄に記入して下さい。

大項目 B 地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める

中項目	小項目	1) 適合度		2) 個人/家族を対象とした到達度				3) 集団/地域を対象とした到達度			
		1 適合	2 不適合	① 到達度の同意	② 「2同意しない」場合の到達度	① 到達度の同意	② 「2同意しない」場合の到達度				
B-a. 特定の健康課題に対する支援を計画・立案する B-b. 特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高めるために活動を展開する	11 目的・目標を設定する	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	12 地域の人々に適した支援方法を選択する	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	13 実施計画を立案する	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	14 訪問・相談による支援を行う（集団を対象とした訪問・相談には、感染症発生時の対応や、事業所の訪問などを含む）	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	15 健康教育による支援を行う	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	16 地域組織・当事者グループなどを育成する（組織化活動）	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	17 活用できる社会資源、協働すべき機関・人材について、情報を提供する	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	18 支援目的に応じて社会資源を活用する	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	19 当事者と関係職種・機関でチームを組織する	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる
	20 個人/家族支援、組織的アプローチなどを組み合わせて活用する	1	2	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる	1 同意する 2 同意しない	I ひとり II 指導のもと III 学内演習 IV 知識としてわかる

注1 「集団/地域」とは、集団(自治会の住民、要介護高齢者集団、管理職集団、小学校のクラスなど)、地域(自治体、企業、学校など)の人々を示す。
 注2 「II 指導のもとで実施できる」は、指導保健師や教員の指導のもとで実施できることを示す。
 注3 「III 学内演習で実施できる」は、事例などを用いて模倣的に計画を立てたり実施できることを示す。